

集計表及び数量計算書

名称	規格	ページ	計算式・内容	処理前	数量	単位	単価	代価	備考
1. フル物干台・(柱建式)	物干金物付・面積3㎡未満・基礎別途・ [新設]			2,000	2.00	㎡			
2. 綁用コンクリート基礎	GL上・高さ1000mm・幅100mm・[撤去 A]			2,000	2.00	㎡	1,070	P-22	5200240
2. インターロックブロック敷	厚60mm・[新設]			5,000	5.00	㎡	2,590	P-1	代価表
4. 綁用コンクリート基礎	GL下・幅100mm・仕上0.20㎡別途計 上・[新設]			5,000	5.00	m	58,300	P-2	代価表
3. フル物干台・(柱建式)	物干金物付・面積3㎡～6㎡・基礎別 途・[新設]			20,000	20.00	㎡	98,100	P-330	5401110
6. インターロックブロック敷	厚60mm・[新設]			50,000	50.00	㎡	2,590	P-1	代価表
4.									
5.									
6.									
7.									
8.									
9.									
10.									



P-1

黄色の部分でダブルクリック (左) →単価表or代価表選択

→単価表 (コード) or代価表 (P-1) をダブルクリック (左) →集計表に表示されます！

附 帯 工 作 物 補 償 額 算 定 書

工作物の所在地		所有者住所		整理番号		No.									
工作物の所有者		移転工法		調査者		調査年月日									
純工事費計 (C)	諸経費率 (D)	復元費又は再築費計 (H)	解体撤去費計 (I)	計 H+I=(J)	廃材処分費 (K)	発生材価格 (L)	補償額 J+K-L								
8,699,400	24.9%	#N/A	7,475,700	#N/A	54,180		#N/A								
番号	(新設)(移設)	種類・名称・構造・形状・寸法	単位	数量 (A)	単価 (B)	純工事費 A×B=(C)	諸経費 C×D=(E)	復元価格又は再調達価格 C+E=(F)	補償区分			復元費又は再築費 F又はF×G=(H)	解体撤去費 (F)=I	備考	設置年月日
	(撤去)	種類・名称・構造・形状・寸法							耐用年数	経過年数	率 (G)				
1.	7L物干台(柱建式)	物干金物付・面積3㎡未満・基礎別途[新設]	㎡	2.00	102,200	204,400	50,800	255,200	#N/A	36年	#N/A	#N/A		P-330 5401010	昭和54年3月27日
2.	イタ-ロッキワロワ敷	厚60mm[新設]	㎡	2.00	109,500	219,000	54,500	273,500				273,500		P-1 代償表	#N/A
3.	イタ-ロッキワロワ敷	厚60mm[新設]	㎡	5.00	109,500	547,500	136,300	683,800				#N/A		P-1 代償表	昭和54年3月27日
4.	堀用コンクリート基礎	GL下・幅100mm・仕上0.20㎡別途計上[新設]	m	5.00	58,300	291,500	72,500	364,000				364,000		P-2 代償表	#N/A
5.	7L物干台(柱建式)	物干金物付・面積3㎡～6㎡・基礎別途[新設]	㎡	20.00	98,100	1,962,000	488,500	2,450,500				#N/A		P-330 5401110	昭和54年3月27日
6.	イタ-ロッキワロワ敷	厚60mm[新設]	㎡	50.00	109,500	5,475,000	1,363,200	6,838,200				6,838,200		P-1 代償表	#N/A
7.															
8.															
9.															
10.															
11.															
12.															
13.															
14.															
15.															
16.															
小計1						8,699,400			#N/A			7,475,700		P-1	

黄色の部分で右クリックすると項目追加が出てくるのでそれをクリックして下さい。
 項目、形状、単位、数量、単価等が表示されます。
 設置区分は選択して下さい。
 設置年月日は、附帯工作物調査表の設置年月日からリンクされています。

